

TSUBURAYA FIELDS HOLDINGS

2026年3月期 決算説明資料

円谷フィールズホールディングス株式会社

東証プライム市場
証券コード 2767

2026年5月

連結業績

- 実績:売上高1,741.4億円(前年同期比+23.9%増)、営業利益174.5億円(同+14.1%増)。
- 概要:アミューズメント機器事業における有力IPを搭載した機種販売の好調、および市場ニーズに即した増産対応が牽引し、グループ全体で大幅な増収増益を記録した。

コンテンツ&デジタル事業セグメント

- 売上高138.7億円(前年同期比△15.4%減)、営業利益9.3億円(同△67.0%減)。
- 概要:国内では「ウルトラマンシリーズ放送開始60周年」記念事業施策や戦略的コラボレーションによるIP価値向上で着実な増収を実現した一方、海外では地政学的リスクや商品サイクルの調整により減収となった。

アミューズメント機器事業セグメント

- 売上高1,590.6億円(前年同期比+29.2%増)、営業利益198.8億円(同+30.1%増)。
- 概要:有力IP搭載機種の好調な販売。通期を通じ、前期販売PB機種(パチスロ)の増産ニーズに柔軟に対応。
- 市場シェア: 販売台数は約27.4万台(前年同期比+33.6%増)、市場シェア約18.2%(当社調べ)。

■ 期初・修正予想を上回る増収増益を達成、事業規模は着実に拡大中。

(単位：億円)

	2025年3月期	2026年3月期	対前期増減 (増減率)	期初予想 (5月13日)	修正予想 (10月31日)
売上高	1,405.8	1,741.4	+335.6 (+23.9%)	1,500	1,700
売上総利益	352.6	383.8	+31.1 (+8.8%)	-	-
販売管理費	199.6	209.2	+9.5 (+4.8%)	-	-
営業利益	152.9	174.5	+21.6 (+14.1%)	160	180
(営業利益率)	(10.9%)	(10.0%)		(10.7%)	(10.6%)
経常利益	164.6	177.5	+12.8 (+7.8%)	161	183
親会社株主に帰属する 当期純利益	111.5	130.5	+18.9 (+17.0%)	112	128

※ 千万円未満は切り捨てて表示しています。

■ アミューズメント機器事業が大幅な増収増益で牽引、グループ全体の成長を支える。

(単位：億円)

		2025年3月期	2026年3月期	対前期増減額 (増減率)	期初予想 (5月13日)
コンテンツ&デジタル事業 セグメント	売上高	164.1	138.7	△25.3 (△15.4%)	190
	営業利益 (営業利益率)	28.3 (17.3%)	9.3 (6.7%)	△19.0 (△67.0%)	32 (16.8%)
アミューズメント機器事業 セグメント	売上高	1,230.9	1,590.6	+359.7 (+29.2%)	1,300
	営業利益 (営業利益率)	152.7 (12.4%)	198.8 (12.5%)	+46.0 (+30.1%)	156 (12.0%)
その他	売上高	16.8	17.8	+1.0 (+6.0%)	
	営業利益	0.0	0.3	+0.3 (+656.1%)	
調整額	売上高	△6.0	△5.8	+0.1	
	営業利益	△28.2	△33.9	△5.7	

※千万円未満は切り捨てて表示しています。

(単位:億円)

	2026年3月期	2027年3月期(予想)	対前期増減額	増減率
連結 売上高	1,741.4	1,870.0	+128.5	+7.4%
コンテンツ&デジタル事業	138.7	153.0	+14.2	+10.3%
アミューズメント機器事業	1,590.6	1,700.0	+109.3	+6.9%
その他&調整額	12.0	15.0	+3.0	+25.3%
連結 営業利益	174.5	190.0	+15.4	+8.8%
コンテンツ&デジタル事業	9.3	30.0	+20.6	+220.9%
アミューズメント機器事業	198.8	200.0	+1.1	+0.6%
その他&調整額	△33.6	△40.0	△6.3	-
経常利益	177.5	191.5	+13.9	+7.9%
当期純利益	130.5	135.0	+4.4	+3.4%

※千万円未満は切り捨てて表示しています。

コンテンツ&デジタル事業セグメント

(単位：億円)

	2025年3月期	2026年3月期	対前期増減率
売上高	164.1	138.7	△15.4%
営業利益 (営業利益率)	28.3 (17.3%)	9.3 (6.7%)	△67.0%

<円谷プロダクション全体の事業収入>

■ 国内・海外別収入内訳	2025年3月期	2026年3月期	対前期増減率
国内	47.0	50.0	+6.4%
海外	68.5	43.4	△36.6%
合計	115.5	93.5	△19.1%

■ 主要なカテゴリー別内訳

ライセンス	68.3	41.5	△39.2%
国内	9.6	10.3	+3.6%
海外	58.6	31.5	△46.2%
うち中国	52.8	25.5	△51.6%
うち北米・アジア等	5.8	5.9	+3.2%
MD(物販)	13.9	15.4	+10.7%
国内	10.6	10.9	+3.4%
海外	3.3	4.4	+34.1%
映像・イベント	29.3	29.6	+1.0%
国内	21.0	21.3	+1.4%
海外	8.3	8.3	+0.2%
合計	115.5	93.5	△19.1%

円谷プロダクション全体

- ◆ 国内事業:各カテゴリーが堅調に推移し、前年同期比で増収。
- ◆ 海外事業:前年同期比で減収・減益となった。「ウルトラマン」は中国市場において引き続き高い認知度とファン基盤を有しており、中長期的な成長ポテンシャルに変化は無い。最も信頼できるライセンスとの戦略的なパートナーシップを強化する。

<ライセンス>

- ・ 国内:「ウルトラマンシリーズ放送開始60周年」記念事業が着実に進展した。今後は周年期間の本格化に伴い、多様なパートナーシップを通じた多角的な露出を加速させることで、「ウルトラマン」の付加価値向上を図っていく。
- ・ 海外:中国市場では、ライセンス収入は減少となったが、映像配信や上海でのイベントや新規の有料舞台公演が寄与し、映像・イベント分野では増収を達成した。

<MD(物販)>

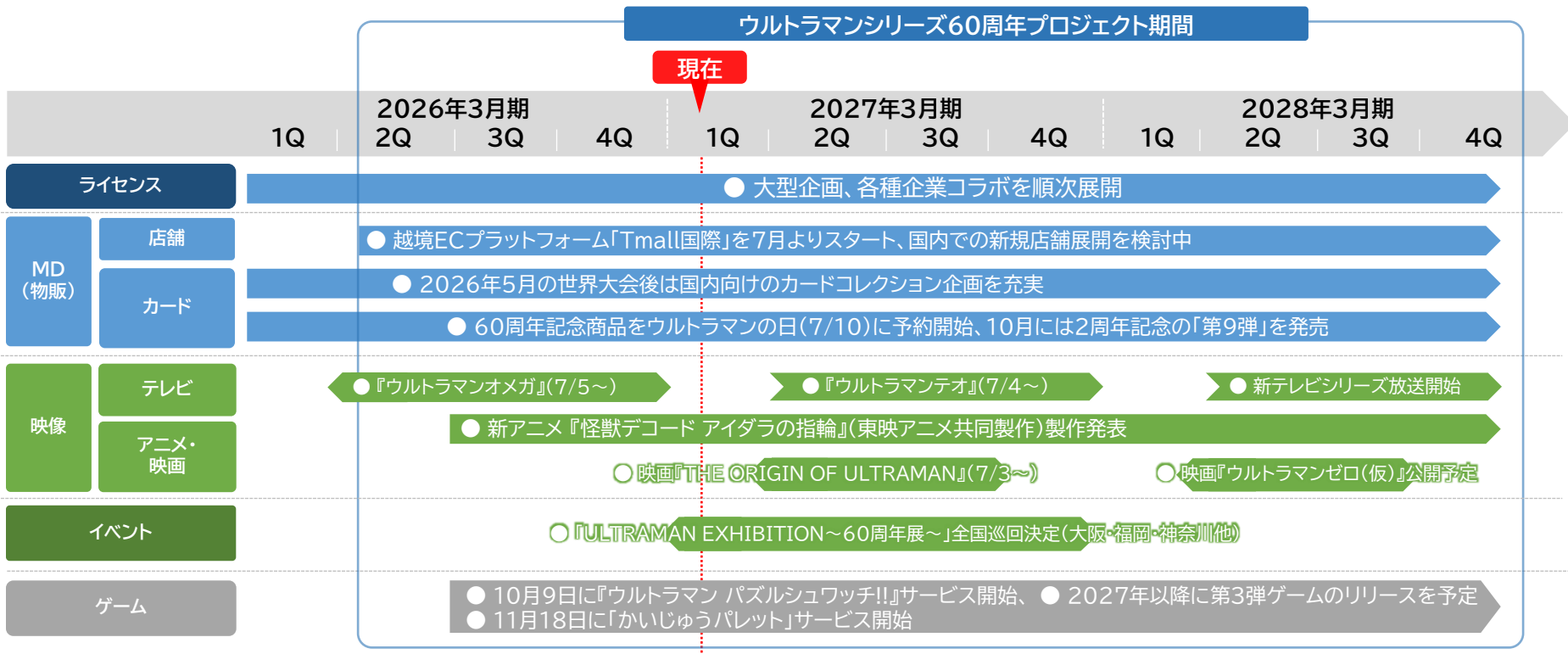
- ・ 2025年10月に発売1周年を迎えたウルトラマンカードゲームは、戦略的な商品投入や5月9日に開催した世界大会の実施を通じて、グローバルでのブランド認知やコミュニティ形成が進展した。

<映像・イベント>

- ・ 隔年秋開催の『TSUBURAYA CONVENTION 2025』および『ウルトラヒーローズEXPO2025(夏・冬)』での観客動員数の増加を主因にほぼ前年並みに推移した。

※千万円未満は切り捨てて表示しています。 ※MD:マーチャндаイジング

- 2025年7月からの約2年半をかけ、各事業カテゴリでの取り組みを連動させながら、ウルトラマンシリーズの物語が持つ深い世界観と時代を超えるテーマを、より鮮明に、より立体的に届けていく。



■ 2026年3月期は、各地域の市場特性に応じた多面的な施策を体系的に展開し、グローバルでのブランド価値向上に寄与。

中国

中国本土で史上最大級のウルトラマン公式展覧会「光を追う旅 | ウルトラマン60周年記念展」を実施。



日本

ウルトラマンオメガに続き、新番組『ウルトラマンニュージェネレーションスターズ』の放送を開始。(2026年1月24日より)



「ウルトラマン カードゲーム」公式日本大会「ULTRA LEAGUE CHAMPIONSHIP in Japan 2026」を2026年1月31日&2月1日に開催。



北米

北米でのウルトラマン史上最大規模のライブショーを「ULTRAMAN LIVE at American Dream」(2025年11月15日-16日、22日-23日)にて実施。また、Marvel Comics × 円谷プロのウルトラマン・コラボシリーズの最終巻を2026年2月11日に発売。



シンガポール

東南アジア最大級のポップカルチャーイベント「シンガポール・コミコン2025」(2025年12月6日-7日)でウルトラマンを大々的に展開。



タイ

2026年2月6日-8日にバンコクで開催予定の日本文化の祭典イベント「ANIMONIUM(アニモニウム)」にウルトラマンが登場。



韓国

Anime × Game Festival 2025(2025年12月5日-7日)にて韓国でウルトラマン史上最大規模のショーケースを開催。



台湾

台湾高雄でウルトラマン大型イベント「2026 Kaohsiung Wonderland 冬日遊樂園」(2026年2月7日-3月1日)を実施。



■ 2026年7月10日の「ウルトラマンの日」に向け、各種施策を順次展開中。

新テレビシリーズ『ウルトラマンデオ』

ULTRAMAN Gallery 平成climax展

「ウルトラマン」×「BEYBLADE X」
(株式会社タカトミー)

mofusand×ウルトラマン
Kiramekko vol.1

THE ORIGIN OF ULTRAMAN

ULTRAMAN MUSIC
LIVE TOUR 2026

「niko and …」コラボアイテム

キャラメルマスターコラボ

ULTRAMAN EXHIBITION
-ウルトラマンシリーズ60周年展-

ウルトラマンシリーズ60周年×
JR東海 特別企画

横浜家系ラーメン 壱角家コラボ

S-MEISTER 機械式時計

■ 2026年5月9日に世界大会を開催、世界規模でのコミュニティ形成とブランド認知が加速した。



グローバル累計出荷枚数 約1億3,700万枚(4月末時点)



©円谷プロ ©ウルトラマンテオ製作委員会・テレビ東京

ウルトラマンシリーズ60周年記念作品 新TVシリーズ

『ウルトラマンテオ』2026年7月4日 世界同時期放送&配信スタート

テレ東系列6局ネットでの国内放送のほか、ウルトラマンシリーズ作品の中国やアジア圏における人気急騰を背景に、海外展開地域・対応言語を拡大。

▶ 多言語吹き替え版の同時期放送・配信

(英語、香港、台湾、タイ、インドネシア、ベトナム、、マレー、ヒンディーの現地語に対応予定)

▶ 世界14言語の字幕で同時期配信(YouTubeを含む配信サイト等)

(英語・韓国語・インドネシア語・マレー語・ベトナム語・タガログ語・スペイン語・ポルトガル語・ヒンディー語・タイ語等を予定)

作品概要

- タイトル :ウルトラマンテオ
- 製作 :円谷プロダクション・テレビ東京・電通
- 国内放送局 :テレ東系列6局ネット 他
- 国内配信サイト:TVer・ネットもテレ東・TSUBURAYA IMAGINATION
YouTubeウルトラマン公式チャンネル 他
- 公式HP :https://ani.tv/ultraman_teo/



TOHO NEXT 円谷プロダクション
©TSUBURAYA PRODUCTIONS

ウルトラマンシリーズ60周年記念ドキュメンタリー映画

『THE ORIGIN OF ULTRAMAN』2026年7月3日(金)公開

他のIPにはない独自の哲学や芸術性を著名人のインタビューで可視化することでIPの認知の拡大を図り、ブランド価値を最大化させる。

『万引き家族』などで知られる映画監督・是枝裕和が企画を担当するほか、ギレルモ・デル・トロ、小島秀夫、庵野秀明、樋口真嗣など国内外の第一線で活躍する映画監督・クリエイターたちが独自の視点で語りつくし、「ウルトラマンとは何なのか」という問いに迫ったドキュメンタリー作品。

作品概要

- | | |
|---------|--|
| ・ タイトル | : THE ORIGIN OF ULTRAMAN |
| ・ 監督 | : 中村裕 吉田一貴 |
| ・ 出演 | : ギレルモ・デル・トロ 是枝裕和 小島秀夫 庵野秀明 樋口真嗣
ニコラス・ウィンディング・レフン シヤノン・ティンドル ジョン・アオシマ 他 |
| ・ 制作 | : スローハンド |
| ・ 製作・著作 | : 円谷プロダクション |
| ・ 配給 | : TOHO NEXT 円谷プロダクション |

アミューズメント機器事業セグメント

(単位：億円)

	2025年3月期	2026年3月期	対前期増減率
売上高	1,230.9	1,590.6	+29.2%
営業利益 (営業利益率)	152.7 (12.4%)	198.8 (12.5%)	+30.1%
販売実績			
パチンコ販売	9.2万台	14.2万台	+54.0%
パチスロ販売	11.3万台	13.2万台	+16.9%
合計 (当社シェア)	20.5万台 (13.3%)	27.4万台 (18.2%)	+33.6%

※千万円未満は切り捨てて表示しています。

※千台未満は切り捨てて表示しています。

※前連結会計年度より、従来「PS事業」としていたセグメント名称を「アミューズメント機器事業」に変更しています。

当該変更は報告セグメントの名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。

市場環境

・パチスロは「スマスロ」の定着により高稼働を維持し、販売面でも堅調に推移している。一方、パチンコは市場環境の変化を背景にやや縮小傾向にあり、分野間での違いが見られる状況となっている。こうした中、ホールにおけるスマート機導入に伴う投資動向も踏まえ、有力IPの活用による新規ファンの獲得と市場の活性化が重要なテーマとなっている。

アミューズメント機器事業

フィールズ(株)

- ・『e 新世紀エヴァンゲリオン ～はじまりの記憶～』をはじめ、有力IPを搭載した複数機種の販売に加え、前期販売PB機種(パチスロ)の増産に対応した結果、通期の販売台数は約27.4万台(シェア約18.2%(当社調べ))となった。

(株)エース電研

- ・フィールズ(株)の営業力基盤を活用した新規顧客開拓が堅調に推移している。

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
パチンコ	<p>e シン・ウルトラマン</p> <p>e 東京喰種</p> <p>P 宇宙戦艦ヤマト2202 超波動 森雪 199LT ver.</p> <p>P DD北斗の拳3 百突99ver.</p> <p>3.9万台</p>	<p>e 犬夜叉3.0</p> <p>P クイーンズブレイド4 UNLIMITED 奈落</p> <p>ぱちんこ シン・エヴァンゲリオン PREMIUM MODEL</p> <p>2.9万台(累計6.9万台)</p>	<p>e ベルセルク無双 第2章</p> <p>e ノーゲーム・ノーライフ</p> <p>e 新世紀エヴァンゲリオン ～はじまりの記憶～</p> <p>5.8万台(累計12.8万台)</p>	<p>e ゴジラ対エヴァンゲリオン2 超デカゴールド</p> <p>P ゴジラ対エヴァンゲリオン2 超デカシルバー</p> <p>e ULTRAMAN 4500超ライト</p> <p>P モモキュンソード 速撃99ver.</p> <p>e スマパチ SSSS.GRIDMAN メガSTART 159ver.</p> <p>1.4万台(累計14.2万台)</p>
	パチスロ	<p>Lパチスロ 機動戦士ガンダムSEED</p> <p>L ULTRAMAN</p> <p>スマスロ デビル メイ クライ5 スタイリッシュドライブ</p> <p>L 絶対衝激～PLATONIC HEART～</p> <p>L 東京喰種(増産)</p> <p>スマスロ モンスターハンターライズ(増産)</p> <p>スマスロ バイオハザード5(増産)</p> <p>5.5万台</p>	<p>LBパチスロ エヴァンゲリオン ～約束の扉～</p> <p>L ダーリン・イン・ザ・フランキス</p> <p>3.4万台(累計9.0万台)</p>	<p>スマスロ 新鬼武者3</p> <p>L 絶対衝激IV</p> <p>L 無職転生 ～異世界行ったら本気だす～</p> <p>3.7万台(累計12.7万台)</p>
合計		9.5万台	6.4万台(累計15.9万台)	9.5万台(累計25.5万台)

Appendix

2026年3月期 決算説明資料

- 連結B/S
- 連結C/F

(単位：億円)

連結B/S	2025年3月末	2026年3月末	対前期増減額
流動資産	698.4	740.8	+42.4
固定資産	291.1	292.7	+1.6
資産合計	989.5	1,033.6	+44.0
流動負債	267.7	248.1	△19.5
固定負債	159.3	123.5	△35.7
負債合計	427.0	371.7	△55.3
純資産合計	562.4	661.8	+99.3
負債純資産合計	989.5	1,033.6	+44.0

連結C/F	2025年3月期 通期	2026年3月期 通期	対前期増減額
営業キャッシュ・フロー	77.7	74.7	△3.0
投資キャッシュ・フロー	11.0	△23.1	△34.1
財務キャッシュ・フロー	△135.2	△51.9	+83.2
現金及び現金同等物の増減額	△46.6	△0.1	+46.4
現金及び現金同等物の期首残高	348.1	308.5	△39.5
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	7.0	-	△7.0
現金及び現金同等物の期末残高	308.5	308.3	△0.1

※ 千万円未満は切り捨てて表示しています。

TSUBURAYA FIELDS HOLDINGS

免責事項

本資料に掲載されている当社の計画、戦略、予想等は、すでに確定した事実を除き、潜在的リスクや不確定要素を含んでおり、その内容を保証するものではありません。

潜在的リスクや不確定要素には、当社グループの事業を取り巻く経済環境、市場における競争状況、取扱商品等が考えられますが、これらに限るものではありません。